

8月9日(土) 自由研究発表・事例報告 プログラム (W-203 教室～W-307 教室)

部屋	W-203 教室 (第1室)	W-204 教室 (第2室)	W-205 教室 (第3室)	W-307 (第4室)
カテゴリ	教材・カリキュラム	教材・カリキュラム	スピーキング	動機づけ
① 9:40 10:10	早瀬沙織 (宮崎大学) 日韓の英語教育における発信能力の育成—教科書分析を通して—	中野研一郎 (関西外国語大学)・黒川愛子 (帝塚山大学)・和田藍花 (桃山学院中学校・高等学校) 身体性原理とメタ言語能力の伸長が外国語習得に及ぼす影響の定量分析研究—認知言語学・英語教育・ICTの知見融合の学習教材—	上野正和 (筑波大学大学院生) タスクの繰り返しにおけるブロック型とインターリーブ型の発話流暢性の向上とそのプロセスについて	Ryoko FUJITA (Juntendo University) How Simulated Patient Practicum Affects Japanese Medical Students' Confidence Levels and Willingness to Communicate in English
② 10:20 10:50	柳田綾 (桜花学園大学) 高等学校英語教科書「論理・表現 I」のタスク分析	中野珠悠 (石川県立羽咋高等学校)・梁震 (京都大学大学院生) 新学習指導要領に基づく英語検定教科書のコロケーション分析—小中高の連携の観点から—	山下純一 (函館工業高等専門学校)・村田琴美 (札幌市立丘珠中学校)・志村昭暢 (北海道教育大学)・臼田悦之 (函館工業高等専門学校)・酒井優子 (東海大学)・小野祥康 (北海道科学大学)・照山秀一 (札幌学院大学)・中村洋 (小樽市立望洋台中学校)・三澤康英 (札幌龍谷学園高等学校)・遠藤香菜子 (米子工業高等専門学校)・楠本正義 (札幌市立あいの里東中学校) TBLTに基づくタスク活動ポータルサイトの構築	Katsuyuki KONNO (Ryukoku University) Willingness to Communicate and Task Engagement During a Speaking Task
③ 13:40 14:10		今井理恵 (新潟医療福祉大学)・松沢伸二 (新潟大学)・峯島道夫 (新潟県立大学) 学習指導要領の「言語活動の例」は「まとまりのある文章」をどう例示すべきか—読むこと・書くことのジャンル準拠教育の観点から—	中道淳史 (藤井寺市立第三中学校)・柏木賀津子 (四天王寺大学)・富藤賢治 (大阪教育大学附属平野中学校) AI モジュール学習と概念主導の言語指導 (CdLT) で発話を引き出す中学校英語の実践的研究—Emergent Language に焦点をあてて—	清水遥 (東北学院大学)・濱田彰 (神戸市外国語大学)・星野由子 (千葉大学) 小学生の授業内外での英語の関わりと英語学習動機の関係
④ 14:20 14:50	馬場哲生 (東京学芸大学)・佐藤遼 (東京学芸大学)・内野駿介 (北海道教育大学)・伊東哲 (植草学園大学)・小竹空翼 (横浜国立大学)・境奈津希 (東京学芸大学大学院生) 中学校英語検定教科書における言語材料の扱いの現状と課題—2021年度版と2025年度版の分析を通して—	増田瑞穂 (新潟大学)・松沢伸二 (新潟大学) ドイツの高校英語教科書と大学入試英語問題の分析—メディアーション技能の指導と評価の観点から—	会田裕子 (国分寺市立第一中学校)・田頭憲二 (東京家政大学) 日本人初級英語学習者のピアインタラクションにおける Interactional Competence の特徴—IC チェックリストを用いた分析—	Rintaro SATO (Nara University of Education) Exploring the Silence of Japanese EFL Learners: Its Relationship With the Degree of Willingness to Communicate (WTC)
⑤ 15:00 15:30	高橋有加 (東京家政大学) CEFR 準拠の ELT コースブック及び日本の英語検定教科書における関係代名詞の練習問題の傾向について	鈴木悠太 (東京学芸大学大学院生) 聴覚特別支援学校における教師が考える生徒の英語学習の困難点から見える適切な教材について—教師へのアンケートとインタビューを通して—	宮崎貴弘 (兵庫教育大学大学院生)・吉田達弘 (兵庫教育大学) 相互行為に長けた日本人 EFL 学習者の育成	Tadashi IZUMITANI (Kindai University Senior & Junior High School) Examining the Changes of Senior High School Students' Willingness to Communicate Through the Kotteri Course of the TANABU Model

8月9日(土) 自由研究発表・事例報告 プログラム (W-309 教室～W-312 教室)

部屋	W-309 教室 (第5室)	W-310 教室 (第6室)	W-311 教室 (第7室)	W-312 教室 (第8室)
カテゴリ	SLA・言語習得	ICT・CALL	リーディング	学習者
① 9:40 10:10	平山伸正 (札幌市立鴻城小学校) 公立小学校における絵本を活用した「話すこと(やり取り)」の実践—教師の語りかけにおける Focus on Form の可能性—	杉森直樹 (立命館大学) 生成 AI による支援を取り入れた英語プレゼンテーション授業の実践	Satoshi OTSUKA (National Institute of Technology, Sendai College) Implementing Extensive Reading at a Public High School in Japan	杉原颯太 (京都大学大学院生) 英語教師の職業的ケアによる学習者の言語不安軽減の効果と限界
② 10:20 10:50	西村浩子 (周南公立大学) 授業内英語多読が定型表現の産出に与える影響—ライティングを通して—	田淵香奈子 (関西大学)・大場浩正 (上越教育大学) 非同期型オンライングループプレゼンテーション—遅延訂正フィードバックが大学生に与える効果—	Sanae HAYASHI (Nonoike Junior High School, Akashi, Hyogo) Comparing Mediation and Retelling as Post-Reading Activities With a Focus on Reading Comprehension in Junior High School Students	酒井志延 (千葉商科大学) 機械翻訳を使った英語リメディアル教育
③ 13:40 14:10	石崎貴士 (東京理科大学)・吳如惠 (銘傳大学) 第二言語学習者のストループ効果段階的統合モデル—母語の書記体系からの追検証—	Sho KOBAYASHI (Osaka Kyoiku University)・Kanakano TABUCHI (Kansai University) Leveraging Canva Technology for Language Learning: Enhancing WTC and IP Through Corrective Feedback	サルバシオン有紀 (上越教育大学)・大場浩正 (上越教育大学) 協同的な英語リーディング活動による学習者のリーディング・ストラテジー使用の変容過程	勝呂奈緒 (八潮市立潮止小学校)・吉川たえ (草加市立新里小学校)・羽山恵 (獨協大学) 多重知能理論を活用した個別最適な外国語科授業の実践に向けて—児童の知能タイプと学習関連要因の関係—
④ 14:20 14:50	鈴木渉 (宮城教育大学)・石川正子 (城西大学) 筆記ランゲージングは誰に向けて行うと効果的なのか	金子淳 (三重大学)・山口常夫 (山形大学名誉教授)・サコラヴスキー ジェシー (三重大学)・庄山大樹 (三重大学教育学部附属中学校)・武山史哉 (東根市立第一中学校) AI・教育ビッグデータを用いた言語習得・個別最適な学びのための機械学習モデルの開発—生成 AI を用いた英語学習者モデルの開発—	田中菜採 (日本大学) 英文速読の最適速度の探索 —自己ペース読みと英文提示速度操作による検証—	西村秀之 (拓殖大学)・山本丁友 (元横浜市立本牧中学校) 5ラウンドシステムの授業を通じて生徒の発信力はどのように伸びてゆくのか?
⑤ 15:00 15:30	齋藤玲 (東北大学)・鈴木渉 (宮城教育大学)・佐藤康之輔 (湯沢市立稲川中学校) 英作文フィードバックに対する認知・情動と書き直しの関連—中学校における実践研究—	阿部恭子 (石川県立金沢錦丘高等学校) 英語授業における AI の教育的意味づけ—実践と教師の内省から見たもの—	土方裕子 (筑波大学)・網代菜々実 (筑波大学生)・山中陽向 (筑波大学生)・屋良里佳 (筑波大学生)・岡田花奈 (日出国中学校)・岩佐菜々夏 (筑波大学生) 第二言語による複数文章読解に必要な読解下位能力	間中和歌江 (武蔵野大学) 英語が不得意な生徒が授業中に考えていること—高校の授業で何を考えていたか、大学生になった元生徒たちの振り返り—

8月9日(土) 自由研究発表・事例報告 プログラム (W-313 教室～W-412 教室)

部屋	W-313 教室 (第9室)	W-314 教室 (第10室)	W-315 教室 (第11室)	W-412 教室 (第12室)
カテゴリ	文法	語彙	ライティング	指導法
① 9:40 10:10	井上大輔 (同志社大学大学院生) 日本人大学生の英語二重目的語構文の知識—容認度判断データからの考察—	神宮里奈 (筑波大学大学院生) 日本人大学生を対象とした語彙学習における文脈の手がかりと派生語理解への影響	福嶋雅直 (大和大学) タイピング型とドラッグ型による語句整序学習の効果比較—英作文演習アプリを用いた実践研究—	松浦伸和 (広島大学)・池田泰士 (広島大学大学院生) 英語授業内の訂正フィードバックの在り方について
② 10:20 10:50	福石早津季 (香取市立香取中学校) ライティングにおける文法の誤りに気付いて修正する力の育成—ランゲージングとDDLを活用した帯活動の実践—	江口朋子 (立命館大学)・佐藤剛 (弘前大学)・林裕子 (佐賀大学) 小中連続の指標による英語の音声受容語彙と文字受容語彙の発達	中田未来 (大阪教育大学附属池田中学校)・濱田彰 (神戸市外国語大学) 中学生の書く力育成におけるダイナミックアセスメント—生成AIを活用した訂正フィードバック—	
③ 13:40 14:10	柿葉敦子 (松戸市立栗ヶ沢中学校)・福石早津季 (香取市立香取中学校)・神谷昇 (千葉大学)・西垣知佳子 (千葉大学) 中学3年生の英文法の基礎知識の習得状況の調査の結果	佐藤剛 (弘前大学) 令和7年度版中学校英語教科書の語彙の変化—改訂による指導語彙の動向分析—	石川有香 (名古屋工業大学) 英作文指導における評価の課題—コーパスに基づく言語特徴と評価基準の分析—	沢谷佑輔 (北星学園大学) 大学の英語授業における「カリキュラムの障害」—UDLに基づく授業の設計に向けた考察—
④ 14:20 14:50	神谷昇 (千葉大学)・川名隆行 (千葉大学教育学部附属中学校)・中井康平 (千葉大学教育学部附属中学校)・見目慎也 (千葉大学教育学部附属中学校)・山崎達也 (千葉大学教育学部附属中学校)・西垣知佳子 (千葉大学) 英語の品詞理解度について—中学生対象の調査結果から—	羽山恵 (獨協大学)・坂本玄 (獨協埼玉中学高等学校)・神田智史 (獨協埼玉中学高等学校)・堀内美希 (獨協埼玉中学高等学校)・北島翔汰 (獨協埼玉中学高等学校) リテリングにおける原文依存からの脱却—ラウンド方式カリキュラムに基づく学年・英語力別の表現拡張の傾向—	辰己明子 (広島大学)・石井達也 (高知大学)・平野洋平 (神戸市立工業高等学校)・中川篤 (広島大学)・兼重昇 (大阪樟蔭女子大学) 中学生の英作文に対するUGUIS活用の効果検証	溝畑保之 (桃山学院大学)・秋山容洋 (姫路市立家島中学校)・坂上渉 (亀岡市立亀岡川東学園)・周藤かおる (堺市立鳳中学校)・堀米美恵子 (箕面市立第六中学校)・牧野尚史 (滋賀大学教育学部附属中学校) 学びの転移を目指す概念型指導—知識とプロセスをつなげる英語教育の新たな挑戦—
⑤ 15:00 15:30		見目慎也 (千葉大学教育学部附属中学校) 中学校の語彙学習における練習方法の比較—手書きとタブレット活用—	飯田毅 (同志社女子大学) Essay Writingにおける大学初年次生の論理構造	渡邊万里子 (大妻女子大学) 中学校英語検定教科書における関係代名詞導入のためのコンテクト

8月9日(土) 自由研究発表・事例報告 プログラム (W-413 教室～W-416 教室)

部屋	W-413 教室 (第 13 室)	W-414 教室 (第 14 室)	W-415 教室 (第 15 室)	W-416 室 (第 16 室)
カテゴリ	スピーキング・賛助会員	リスニング	教材・カリキュラム	テスト・評価
① 9:40 10:10	横田憲祐 (長崎県立長崎北陽台高等学校) スピーキングにおける気づきを伴う明示的訂正フィードバックの実践—高校生の反応と言語的变化の分析—	柳下真輝 (東京学芸大学大学院生) 大学入学共通テスト英語リスニング問題の妥当性—4人話者問題に関する一検証—	中竹真依子 (学習院大学)・志村美加 (学習院大学)・永田祥子 (学習院大学) 一般教養英語 Reading クラスへの教科書リスト導入についての考察—教員への調査を基に—	
② 10:20 10:50	ETS Japan【賛助会員発表】 中学イマージョンプログラムの実践と TOEFL Junior の活用	名淵浩司 (東京学芸大学附属世田谷小学校) 高学年児童のリスニング能力発達プロセスの分析—5年生の1年間を通じたディクテーション回答の比較分析—	五本木晴生 (かえつ有明中・高等学校) 英語映像教材の有用性—映像視聴による語彙学習とその教材内要因に着目して—	
③ 13:40 14:10	mpi 松香フォニックス【賛助会員発表】 「考える」「書く」「伝える」TAGAKI 学習法—コミュニケーションにつなげる新しいライティング教材—	古屋あい子 (東洋大学) 第二言語リスニング理解の背景知識の提示による影響—会話文と説明文との比較—	今井麻紀 (北里大学) 概念理解を促す英語の授業—絵本 <i>Swimmy</i> を用いた授業デザイン—	中村洋 (小樽市立望洋台中学校) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の実態について
④ 14:20 14:50	シーハン小田早苗 (お茶の水女子大学) セルフトークによるスピーキング練習—AI時代だからこそそのアナログコミュニケーションに向けて—	Yo HAMADA (Akita University) Do Learners Use Different Listening Strategies for NS and NNS?	佐藤優里佳 (東京学芸大学大学院生) 5ラウンドシステム英語授業実践校の実態調査と改良の提案	久保佑輔 (山梨大学) 日本の英語教育の文脈に即した批判的思考力を測定する英語テストの代表性の検証—大学入学共通テストとの比較—
⑤ 15:00 15:30	齋藤英敏 (茨城大学) グループ・ディスカッション指導を始める前に絶対知っておきたいこと		前田宏美 (文京学院大学) 中学校検定教科書における語用論的表現の使用実態—語用論的指導の改善に向けて—	佐藤選 (東京学芸大学) 共通テストにおける「論理性」の測定妥当性の検証—ディスコースメーカーの設問に焦点を当てて—

8月9日(土) 自由研究発表・事例報告 プログラム (W-417 教室～W-421 教室)

部屋	W-417 教室 (第 17 室)	W-418 教室 (第 18 室)	W-419 教室 (第 19 室)	W-421 教室 (第 20 室)
カテゴリ	教員養成・教師教育	発音	異文化理解・国際理解	学習方略
① 9:40 10:10	Hiroto YAMAMURA (National Institute of Technology, Toyama College) How Consistent are the Beliefs Over Time? A Case of a Novice English Teacher at KOSEN	相田希実 (東京学芸大学大学院生) 英語科教員志望者における/r/の過剰般化	内住祐介 (埼玉県立春日部東高等学校) 高校英語教育を通じたグローバル市民育成のための授業開発	Wei-Tung WANG (Tokyo University of Foreign Studies) A Preliminary Report on Learners' Strategy Use Based on CEFR-Informed Self-Assessment
② 10:20 10:50	田村岳充 (宇都宮大学)・星野由子 (千葉大学) 英語指導主事の指導助言の力量形成を促す持続可能な研修プランの開発	岡本真砂夫 (姫路市立高浜小学校) インタビューテストにおける小学生の英語発音の変化	土屋佳雅里 (東京成徳大学) AI 時代の英語教育における批判的思考力の育成—映画 "Cinderella" (1950) と機械翻訳を通じて物語の背景を読み解く—	土屋麻衣子 (福岡工業大学) 学習者主体のフィードバック活動の導入が自己調整学習に及ぼす影響
③ 13:40 14:10	James M HALL (Iwate University) Exploratory Practice on Language Activities	望月正道 (麗澤大学)・Richard Walker (麗澤大学)・千葉庄寿 (麗澤大学)・渡邊信 (麗澤大学) 大学生英語学習者が聞き取り、発音するのを苦手とする音素は何か、その序列はあるのか—予備的研究—	小野真嗣 (室蘭工業大学)・室拓実 (室蘭工業大学)・パレム ジョン ガイ (室蘭工業大学)・リード コリー ハンター (室蘭工業大学) 一度の海外研修で終わらせない持続的な協定校学生交流の実践—学内英語活動の場の創出—	境奈津希 (東京学芸大学大学院生) 「英語コミュニケーション」の定期考査が高校生の学習方略へ与える影響
④ 14:20 14:50	安達理恵 (椋山女学園大学) CLIL と Lapbook (ラップブック) 指導の効果と課題	松原緑 (名古屋大学) 音韻的短期記憶の容量がイントネーションに与える影響	栗原文子 (中央大学) 英語教育を通じたグローバル・デジタル・シティズンシップの育成—シティズンシップ育成に向けた資質の構成要素を探る—	山中由香 (関西大学)・古屋あい子 (東洋大学) L2 Grit と自己調整学習方略の関連性—英語力への影響に着目して—
⑤ 15:00 15:30	竹野純一郎 (岡山理科大学)・國本和恵 (岡山理科大学) 初等英語科における大学生の反転授業—「アクティブ・ラーニングの外化」を促す学習支援—	河内山真理 (関西国際大学)・有本純 (関西国際大学) 発音記号の理解度に関する実態調査	若生深雪 (仙台高等専門学校) 遠隔地オンライン国際交流と対面交流の効果比較—中学生の異文化間能力に焦点を当てて—	若本夏美 (同志社女子大学) Real-Life Language Practice Strategies—MBTI に基づくストラテジートレーニングの実践—

8月9日(土) 自由研究発表・事例報告 プログラム (W-422 教室～W-425 教室)

部屋	W-422 教室 (第 21 室)	W-423 教室 (第 22 室)	W-424 教室 (第 23 室)	W-425 教室 (第 24 室)
カテゴリ	授業分析	指導法	指導法	指導法
① 9:40 10:10	遠藤香菜子 (米子工業高等専門学校) 英語授業におけるタスク性を高めた言語活動の実践—学生のワークシートと自由記述による振り返りの分析—	大田悦子 (東洋大学) 高校英語教科書の難易度と指導方法が英語学習に与える影響	丹藤慧也 (筑波大学大学院生) 要約方略指導が日本人英語学習者の英文要約におけるパラフレーズ使用に与える影響	富和由有 (同志社大学大学院生) 英語現在完了表現に関する協働学習が個人の知識変容に与える影響
② 10:20 10:50	Asuka TAKAHASHI (Hokuyo University) Developing L2 Learners' Communicative Competence Through Skills Integration	黒川愛子 (帝塚山大学) 小中接続に向けての検定教科書を用いた中学校外国語科における TPR 指導の展開—教員をめざす学生との授業からの考察を含めて—	中井康平 (千葉大学教育学部附属中学校) 中学 1 年生の誤り分析とデータ駆動型学習 (DDL) による指導—小学校英語教科書を活用した接続を踏まえて—	小林良裕 (東京学芸大学大学院生) 英文リスニング後の要約文作成指導—原文からの語句の直接借用に注目して—
③ 13:40 14:10	村田琴美 (札幌市立丘珠中学校)・志村昭暢 (北海道教育大学) タスクを重視した中学校英語授業の特徴—単元全体のコミュニケーション志向の変化を中心に—	野村幸代 (高知大学)・溝淵優希 (高知大学大学院生) 社会的エンゲージメントを育む遠隔授業—特別支援学校における「見取り」に着目して—	川名隆行 (千葉大学教育学部附属中学校) DDL×生成 AI	
④ 14:20 14:50	川崎真理子 (長岡崇徳大学) 看護英語の主体的学習による自己調整能力の変化	岡崎浩幸 (富山大学) 生徒視点の授業リフレクションによる若手英語教師の省察深化プロセス	坂口寛子 (筑波大学大学院生) ディベートスキルとジャッジスキルの向上を目指した高校生英語ディベート初心者への効果的なフィードバック	山崎達也 (千葉大学教育学部附属中学校) 「なぜ？」から始まる中学校の英語の授業—教科書を活用した生徒主体の探究的な学びの実践—
⑤ 15:00 15:30	宮迫靖静 (福岡教育大学) 英語授業における構造・オートノミー支援行動の一分析	高田智子 (清泉女子大学)・渡辺香代子 (幸手市立上高野小学校) 行動指向アプローチ (AoA) の視点からとらえる小学校の英語授業		友野龍之介 (東京学芸大学大学院生) 初級英語学習者を対象としたリテリング事前活動の工夫と効果

8月10日(日) 自由研究発表・事例報告 プログラム (W-203 教室～W-307 教室)

部屋	W-203 教室 (第1室)	W-204 教室 (第2室)	W-205 教室 (第3室)	W-307 教室 (第4室)
カテゴリー	テストング・評価	ICT・CALL/SLA・言語習得	教員養成・教師教育	教材・カリキュラム/心理言語学
⑥ 9:00 9:30	駒井健吾 (長野保健医療大 学) CEFR-CV の複合的構造をパフォ ーマンス評価の尺度設計に用いる	岡田美穂子 (愛知学院大学) 高校教科書からのインプットが日 本人大学生による過度受動化の 誤りに与える影響に関する一考察 —他動詞用法を持つ非対格動詞 と主語の有生性に焦点を当てて—	三好徹明 (関西国際大学) 教職課程学生を対象とした日本 語と英語の連携に関する指導観 の実態—4年間にわたる自由記 述タスク調査結果をもとに—	
⑦ 9:40 10:10		鈴木智久 (静岡県立静岡城北 高等学校)・望月孝太 (静岡県 立静岡城北高等学校)・ 白畑知彦 (静岡大学名誉教授 /言語習得研究機構) オンライン授業での Near-Native English Speakers とのインタラク ションによる効果検証—高校生 JLEs の発話能力の分析を基に—	大崎さつき (創価大学) 教職課程における省察の内在化 を促す指導枠組みの提案—メタ 認知の構成要素に基づく分析—	田中大樹 (千葉大学大学院 生) 高等学校向け英文法教材のある べき姿を考える—海外の英文法 教材との比較分析を通して—
⑧ 10:20 10:50	河合裕美 (神田外語大学)・ 宮毛俊紀 (川崎市立高津小学 校) 小中学生の音韻意識・文字知 識・文字と音の対応知識と学習不 安の関係性の差異—英語基礎ス キル検査バッテリーと質問紙から—	望月孝太 (静岡県立静岡城北 高等学校)・鈴木智久 (静岡県 立静岡城北高等学校)・ 白畑知彦 (静岡大学名誉教授 /言語習得研究機構) 英語到達動詞の習得過程調査 —高校2年生と大学1年生の 結果比較—		白倉美里 (東京学芸大学)・ 田中広宣 (群馬大学) 高校生の内容理解から見る中高 ギャップ—教科書本文を用いた予 備調査—
⑨ 11:00 11:30	飯村英樹 (群馬県立女子大 学)・高波幸代 (群馬大学) 音読用評価尺度の実用性検証 —ルーブリックに基づく二値選択・ 境界定義 (RBB) 尺度—	田中広宣 (群馬大学)・ 伊藤賢佑 (東京学芸大学附属 高等学校)・広瀬友紀 (東京大 学) 日本語母語英語学習者の後置 修飾構造の理解—高校生を対象 とした検討—	藤居真路 (広島文化学園大 学) 英語科教授法のグループ探究にお ける学びと対話への意識	赤松信彦 (同志社大学) バイリンガル・レキシコンにおける概 念の変容—色彩干渉効果の消 失が示すもの—
⑩ 11:40 12:10	土居遼希 (筑波大学大学院 生)・平井明代 (筑波大学) 要約タスクにおけるパラフレーズ評 価方針の比較と減点基準の検討 —量的評価と質的評価の視点か ら—	Saeko TOYOSHIMA (Tsuda University) Characteristics of Language Complexity Development in Japanese English Learners	津久井貴之 (群馬大学)・ 工藤洋路 (東京外国語大学)・ 白倉美里 (東京学芸大学)・ 亘理陽一 (中京大学) Teacher Talk 分析から見えてき たこと—思考と発話を促す教師の 語りとは—	細田雅也 (成城大学) Bob or He? 英語学習者はいつ 登場人物を代名詞にするか—文 の構造と意味を観点とした母語話 者との比較—
⑪ 12:20 12:50	酒井英樹 (信州大学)・亘理陽 一 (中京大学)・内野駿介 (北 海道教育大学)・小木曾智子 (富山大学)・長沼君主 (青山 学院大学)・池田周 (愛知県立 大学)・浦野研 (北海学園大 学)・草薙邦広 (県立広島大 学)・工藤洋路 (東京外国語大 学)・寺沢拓敬 (関西学院大 学)・堀田誠 (北海道教育大 学)・物井尚子 (千葉大学) 小学校外国語科における「聞くこ と」の「知識・技能」に関するアウト カム指標の開発	高橋俊章 (山口大学) 英語冠詞習得順序に関する日韓 英語学習者の比較研究—決定 木分析によるアプローチ—		HUSILETU (Graduate Student, University of Tsukuba) Cue-Based Retrieval in Sentence Processing: Synthesizing Research on Semantic and Syntactic Interference

8月10日(日) 自由研究発表・事例報告 プログラム (W-309 教室～W-312 教室)

部屋	W-309 教室 (第5室)	W-310 教室 (第6室)	W-311 教室 (第7室)	W-312 教室 (第8室)
カテゴリー	リーディング	言語・教育政策/その他	テストイング・評価	SLA・言語習得・動機づけ
⑥ 9:00 9:30	形山羽奈 (広島大学大学院生) 英語詩を通じた読解活動の実践と教育的効果—高校生の解釈の変容に着目して—	椋山美生 (関西大学大学院生) 「国際共通語としての英語」の認識に関する比較研究—小・中・高教員を対象に—	大脇裕也 (大東市立北条中学校) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価に向けた一提案— Mission Sheet を通じた自己調整と粘り強さの育成—	光田怜太郎 (東京学芸大学大学院生) 高校生の be 動詞の意味・役割の認識について
⑦ 9:40 10:10	阿嘉奈月 (沖縄国際大学) <i>i minus 1</i> レベルの読解活動は文法習得の定着に有効か—不定詞名詞的用法の文法習得の変化について—	Koki SEKITANI (Toyo Eiwa University) Research Designs in Pedagogical Articles: A Comparative Analysis Across School Subjects and Related Fields	若松千智 (千葉大学大学院生) 多肢選択式読解問題における本文をパラフレーズした正答選択肢の魅力度の調査—生成 AI を用いた効率的な作成方法の検討—	Takeshi ISHIHARA (Osaka Seiko Gakuin Junior & Senior High School) Investigating the Relative Contributions of Explicit, Automatized Explicit, and Implicit Knowledge to English Four-Skill Performance
⑧ 10:20 10:50	山内勝弘 (広島大学)・藤井数馬 (長岡技術科学大学) 英語多読経験と大学生の英文読解スタイルおよび読解態度の関係	齋藤嘉則 (東京学芸大学) 『英語教育大論争』再考	印南洋 (中央大学)・小泉利恵 (筑波大学)・真家峻 (東北大学)・花沢典行 (茨城県立水戸第一高等学校) 即時フィードバックとモデル提示がスピーキングと振り返りに与える影響—AI 採点型スピーキングテストの場合—	Shin'ichiro ISHIKAWA (Kobe University) How Many Samples Do We Need? Variability and Stability in Learner Corpus Research
⑨ 11:00 11:30	鈴木修平 (苫小牧工業高等専門学校) 接続表現に基づいた論理関係を学習者はどう捉えるか	梶ヶ谷毅 (国際基督教大学) 学習指導要領の曖昧な効力をめぐる批判的実在論的考察—「授業は英語で」政策を例にして—	斉田智里 (横浜国立大学) 英語力の向上が期待できる英語科の取組—R5 全国学力・学習状況調査と R5 英語教育実施状況調査のデータ解析から—	加藤心 (土幌町立土幌町中央中学校) 中学 1 年生が 1 秒以上間を空けずに 20 往復の高速やり取りをする
⑩ 11:40 12:10	名畑目真吾 (筑波大学)・木村雪乃 (獨協大学)・小木曾智子 (富山大学) 英文の難易度に対する主観的、客観的、AI 的評価の比較—視線計測データに基づく処理労力との関連から—	寺沢拓敬 (関西学院大学)・梶ヶ谷毅 (国際基督教大学)・須藤爽 (筑波大学大学院生) 英語教育改革における「切り札」幻想—小学校英語、授業は英語で、入試政策—	高波幸代 (群馬大学) スピーキングテスト直後の採点 (自己・相互) は学習者にどのような気づきを与えるか	望月恵理 (青山学院高等部) 英語教育における高校生の自己肯定感に影響を与える要因について
⑪ 12:20 12:50	間美和 (新潟大学) 日本語を母語とする中学校レベルの英語学習者を対象にした読解ストラテジーの明示的指導の効果検証—トップ・ダウン・ストラテジーによる概要把握の力の習得に着目して—	田嶋美砂子 (茨城大学) 誰が応用言語学の知を構築するのか—「認識論上の人種主義」という視点から—	小金丸倫隆 (玉川大学)・柳谷孝一 (神奈川県立上溝南高等学校) 自由英作文指導における自己評価能力の伸長と教員評価との相関—学習ポートフォリオの活用を通して—	内山直樹 (東京学芸大学大学院生) 自律的な学習者を育成するためのフィードバックの検討—海外動画を活用した自宅学習に焦点を当てて—

8月10日(日) 自由研究発表・事例報告 プログラム (W-313 教室～W-412 教室)

部屋	W-313 教室 (第9室)	W-314 教室 (第10室)	W-315 教室 (第11室)	W-412 教室 (第12室)
カテゴリ	教材・カリキュラム	語彙	語彙	指導法
⑥ 9:00 9:30	吉川りさ (横浜国立大学)・ 神白哲史 (専修大学)・ 近藤睦美 (甲南女子大学)・ 平井愛 (神戸学院大学) 大学英語カリキュラムアセスメント 事例研究—大学カリキュラム改定 の 에스ノロジーを踏まえて—	前田航世 (同志社大学大学院 生) 英単語学習における視覚情報の 効果—イラストを取り入れた単語 帳の検証と分析—	水書亮 (筑波大学大学院生) 例文の意味的類似度が想起練 習を用いた意図的語彙学習に与 える効果	並河陽 (清心女子高等学校) 中学校英語科の「話すこと [やり 取り]」における会話方略の指導 —定型表現を教えることで、表現 の幅は広がるのか—
⑦ 9:40 10:10	宮崎遼 (駒沢学園女子高等学 校)・田中真由美 (武庫川女子 大学)・青山拓実 (明治大学) 思考力とエンゲージメントの観点に よる高校英語教科書の設問・活 動分析	森下美和 (神戸学院大学) 日本人英語学習者に見るコケー ションの知識と運用能力	金山幸平 (北海道教育大学)・ 岩田哲 (北海学園大学) アニメ視聴を通じた英語学習のた めの Cartoon Word Lists	久保孝彰 (高松市立龍雲中学 校) 中学校英語科におけるリテリング 活動の効果
⑧ 10:20 10:50	高島英幸 (東京外国語大学)・ 東野裕子 (日本体育大学)・ 奥村耕一 (情報経営イノベー ション専門職大学)・村上美保子 (茨城キリスト教大学)・ 桐生直幸 (鎌倉女子大学短期 大学部) 小学校外国語教育におけるプロジ ェクト型単元の開発	森田光宏 (広島市立大学) 派生接辞知識は語彙量の増加に 寄与するか—日本人大学生を対 象とした縦断的分析—	鈴木健太郎 (北海道教育大 学) 教科書におけるさまざまな種類の 語彙の繰り返しにどのように向き合 うべきか—中学校英語教科書の 分析を通して—	中野優子 (東北学院大学) 大学教養英語科目での機械翻 訳 (MT) と ChatGPT 実験の 実践報告
⑨ 11:00 11:30	奥村耕一 (情報経営イノベー ション専門職大学) AI を用いた英文構成能力向上の ための教材作成システムの開発	米崎里 (関西学院大学)・ 川見和子 (甲南女子中高等学 校)・米崎啓和 (近畿大学) フィンランド型語彙プラクティスを活 用した高校生の語彙定着に関す る実践的検証	鬼田崇作 (同志社大学) 日本人英語学習者の視覚的英 単語認知における語彙競合	山口和彦 (日本国際学園大 学)・金谷憲 (東京学芸大 学)・高田悠幾 (山形県立東根 学館中学校・高等学校) ディベートを中心に中高6年間の 英語教育を行う東根学館モデルの 開発
⑩ 11:40 12:10	安間一雄 (獨協大学)・加藤洋 昭 (聖徳大学)・今井純子 (順 天堂大学) 中学校英語教科書における文法 項目出現パターンの計量的分析	佐藤扶 (東京学芸大学大学院 生) 再話活動を取り入れた高校英語 授業における語彙指導の実践— 受容語彙から発信語彙への転換 を目指して—	及川凱亜 (東北大学大学院 生) 筆記訂正フィードバックと筆記ラン ゲージングが語彙習得にもたらす 影響の調査	武田千絵 (広島県立賀茂高等 学校) 外国語活動における PBL とラウン ド制授業の効果比較—パフォー マンステストとアンケート調査の観点 から—
⑪ 12:20 12:50	山田慶太 (豊田工業高等専門 学校)・村尾玲美 (名古屋大 学)・杉浦正利 (名古屋大学) 中学校英語教科書の単語・連語 の出現頻度は大規模英語コーパ スに見られる英語の使用実態とど の程度相関しているか?	物井真一 (筑波大学附属高等 学校)・高木哲也 (筑波大学附 属高等学校) 高校生の音声語彙力と筆記語彙 力に関する縦断的研究—3年間 の経年変化の分析—	八島等 (広島文教大学) 辞書が規定する重要語に対する CEFR-J の対応	濱田活仁 (弓削商船高等専門 学校)・新美徳康 (国立教育政 策研究所)・福光将仁 (筑波大 学大学院生) 高専学生の個別最適な学びを実 現する複線型授業の開発と検証 —プロセス・ライティング活動の実 践—

8月10日(日) 自由研究発表・事例報告 プログラム (W-413 教室～W-416 教室)

部屋	W-413 教室 (第 13 室)	W-414 教室 (第 14 室)	W-415 教室 (第 15 室)	W-416 教室 (第 16 室)
カテゴリ	早期英語教育	動機づけ	発音/文法	ライティング
⑥ 9:00 9:30	加藤あや美 (名城大学)・ 片桐徳昭 (北海道教育大 学)・大橋由紀子 (ヤマザキ動 物看護大学) 未就学児における英語発話の特 徴分析—イメージ教育におけ るコーパス研究—	山口青 (東京学芸大学大学院 生) YouTube のコメントを題材とした 活動が与える高校生のモチベー ション・エンゲージメントへの効果	天久大輔 (沖縄大学) 文法学習から「文法運用」へ—ピア フィードバックで高める英語スピー キングカー—	入江有希 (鹿児島大学教育学 部附属中学校)・石原知英 (鹿児島大学) 話したことについて書く活動におけ るペアでの振り返りの効果
⑦ 9:40 10:10	橋口奈央子 (千葉大学大学院 生) 外国語授業での音素獲得の可 能性—公立小学校 5 年生の実 態—	小林英治 (仙台高等専門学 校) AI 活用型英語授業への挑戦 —学習の動機づけと表現力の質 的变化について—	伊藤泰子 (神田外語大学)・ 大塚聖 (仙台高等専門学校) 高校英語教員がもつ connected speech 指導への意識	上原岳 (専修大学) ジャンル準拠指導による描写文の 指導とその効果の検証—文脈を 重視した段階的指導に基づいて —
⑧ 10:20 10:50	関口友子 (江東区立枝川小学 校) 小学校外国語科の話すこと[発 表]において、児童が用いている学 習の調整の分析	大崎美佳 (広島女学院大学) 英語授業を変える学びの仕掛け —AL 実践と学生の視点から—		大山廉 (茨城大学) 大学生のポジティブな情意とライ ティング・パフォーマンスの関係
⑨ 11:00 11:30	田中真理 (神奈川大学) 名詞句を通した「語のかたまり意 識」の育成—小学校と中学校の 接続を意識して—	Adrian LEIS (Tohoku Gakuin University) Self-Determination Theory as a Framework for Developing Linguistic Confidence	高山芳樹 (東京学芸大学) 英単語の音節認識能力と発音能 力・明瞭性との関係を探る	清水可奈子 (関東学園大学) 資料に基づく論証型エッセイにお ける日本人 EFL 学習者の引用行 動—belief と資料内容の影響—
⑩ 11:40 12:10	池田周 (愛知県立大学)・ 平尾将剛 (愛知県立大学) 音韻認識がその後の英語初期リ テラシー発達に及ぼす影響—小 学校 5 年時の音韻認識と中学 校 1 年時の形態素認識・綴り能 力との関係—	廣森友人 (明治大学)・ 櫻村祐志 (明治大学大学院 生)・中村姫奈子 (明治大学 大学院生)・神野皓大 (明治 大学大学院生)・奥貫明子 (明治大学大学院生)・ 朝岡里紗 (明治大学大学院 生)・小金丸倫隆 (玉川大 学) 日本における英語教師の動機づ け—システムティックレビュー—	磯田貴道 (龍谷大学)・ 大和知史 (関西大学)・ 鬼田崇作 (同志社大学) Communicative Framework for Teaching Pronunciation 再考—統合的な発音指導の枠組 みとなりうるか—	福光将仁 (筑波大学大学院 生) 論証型エッセイにおけるメタディス コースの使用—高評価・低評価エッ セイの比較—
⑪ 12:20 12:50	石森広美 (北海道教育大学) 英語学習への前向きな姿勢を育 む要因の探究—Small Talk を 軸にした A 小学校 6 年生の事例 から—	柴希結 (千葉大学大学院生) 学習指導要領に沿ったやる気測 定尺度に関する基礎的研究—認 知欲求尺度を参考にして—	梶山達也 (同志社大学大学院 生) 日本人大学生を対象とした英語助 動詞の多義性 (core な意味と peripheral な意味) の理解度の 違いに関する実証研究	

8月10日(日) 自由研究発表・事例報告 プログラム (W-417 教室～W-421 教室)

部屋	W-417 教室 (第 17 室)	W-418 教室 (第 18 室)	W-419 教室 (第 19 室)	W-421 教室 (第 20 室)
カテゴリ	スピーキング	スピーキング	ライティング	学習者
⑥ 9:00 9:30	和泉太輔 (徳島県立城ノ内中等教育学校) 短期海外研修前後における高校生のスピーキング力変容—LANG X Speaking による測定結果—	岩崎恵実 (秀明大学) 実用的な場面で求められる語学力とは—応用航空英語を通して考える—	丹藤永也 (青森公立大学) 日本人英語教師のライティング指導におけるフィードバック・リテラシーの特性と課題	Yu KANAZAWA (The University of Osaka) Foreign Language Enjoyment, Anxiety, and Big Five Traits: Insights From Osaka-Based High-Achieving Undergraduates
⑦ 9:40 10:10	山下美朋 (立命館大学)・栗原典子 (名古屋商科大学)・藤原功生 (北星学園女子中学高等学校) 高校・大学教員の協働による英語ライティング指導の試み—現場に根ざした理論と実践の往還と、教員間の相互的学び—	鈴木雄太 (浜松市立積志中学校)・大瀧綾乃 (静岡大学) Task-Supported Language Teaching を通じた中学生の Oral Fluency 育成のための指導とその効果—やり取りに焦点を当てて—	松尾真太郎 (筑波大学附属駒場中・高等学校) 高等学校検定教科書における言語活動の分類と大学入試英作文問題の接続可能性—「読んで書く」統合型言語活動を通じたライティング力育成の意義と課題—	清水真紀 (群馬大学) 英語学習における多読課題遂行度と学習者のグリットの関係
⑧ 10:20 10:50	福島玲枝 (畿央大学)・山口和彦 (日本国際学園大学) 英語ディベート活動における意味交渉の会話分析—質疑応答場面に基づく指導観点—	川村一代 (皇学館大学)・竹内理 (関西大学) テスト形式が中学生の「話すこと [やり取り]」の評価に与える影響	坂井峻也 (神戸市立真谷高等学校) 論理・表現における意見文を書く力の2年間の変遷—350名の全体的分析と個人の通時的分析—	吉崎理香 (富山国際大学) 学習者間のやり取りにおけるフィードバックとしてのモデル音源使用
⑨ 11:00 11:30	Hikaru YOSHIKAZUMI (Kurashiki Municipal Kurashiki Shonan High School) A Practical Study of Retelling With Visualized L1 Intervention: Aiming to Develop Improvisation in Upper-Novice English Learners	巽徹 (岐阜大学)・田中裕実 (静岡県立大学) 英語科教員志望学生を対象にした発表活動における聞き手の英語発話促進を目指した実践	大須賀心綾 (福島工業高等専門学校) やる気がある学習者は難しいお手本を読みたがる?—L2 ライティングにおけるモデル文の語彙的難易度の選好と動機付けとの関連—	吉川正美 (English Learning Support) 移行に配慮した指導とは—ESP (理系英語) 学習者の成長の軌跡—
⑩ 11:40 12:10		高木哲也 (筑波大学附属高等学校) 高校英語授業における「話すこと [やり取り]」の力を育成する指導—「やり取り力」チェックリストを活用して	谷岡亮 (京都先端科学大学) 英語学習者のライティングにおける結束性研究の動向と課題—使用傾向・評価・分析手法とその役割の検討—	増見敦 (神戸大学附属中等教育学校) 中学英語学習者の内省にみる個別性と時間性—3年間の縦断的調査を通して—
⑪ 12:20 12:50	吉澤孝幸 (秋田大学) プランニングが中学生のスピーチに及ぼす効果の検証	矢野隼人 (釧路工業高等専門学校) 発信力の向上を目指すクイズ・クリエイティング活動		山川真弘 (名古屋中学校・高等学校)・櫻村祐志 (明治大学大学院生) 協同的ライティングにおける行動的エンゲージメントの量と質

8月10日（日）自由研究発表・事例報告 プログラム（W-422 教室～W-424 教室）

部屋	W-422 教室（第 21 室）	W-423 教室（第 22 室）	W-424 教室（第 23 室）
カテゴリ	ICT・CALL	教員養成・教師教育	指導法
⑥ 9:00 9:30	藤井和樹（東京学芸大学大学院生） AI 社会で求められるスキルを育成するための 初等英語教育の改善に関する提案		笠巻知子（京都外国語大学） 大学生スローラーナーの自己効力感を高める リーディング指導―「読めない」から「読んでみ よう」への変容―
⑦ 9:40 10:10	Takayuki MIURA (Waseda University) Sustainable ICT Integration for TOEFL Gains in Japanese Higher Education	田辺尚子（文教大学） 新任中学校英語教師の 1 年間の経験と成 長―ナラティブにおける省察に焦点を当てて ―	石原知英（鹿児島大学） 絵本の翻訳活動におけることばへの気づきの 記述―仲介能力の育成に向けて―
⑧ 10:20 10:50		阿部雅也（上越教育大学） 拡散型教員研修が教師の意識変容に与え る効果の検証―ALT・JTE 協働研修の学び は校内で持続するか―	綾部忠真（静岡大学大学院生）・ 大瀧綾乃（静岡大学） 明示的プロソディ指導が英語学習者の文法 知識に与える影響―非対格動詞の習得に 焦点を当てて―
⑨ 11:00 11:30	小泉有紀子（山形大学） IELTS スピーキング練習における ChatGPT の活用―反復学習の効果の検証―	階戸陽太（鹿児島国際大学） 中・高教員志望の学生が小学校外国語支 援に入る意義	茂木裕璃奈（安田学園中学校・高等学 校） データ駆動型学習における日本人中学生の 記述の特徴―個別学習と協働学習の視点 から―
⑩ 11:40 12:10	小西瑛子（常磐大学） E-learning の利用率を高めるために―リテ リングを利用して―	馬場千秋（帝京科学大学） 小学校教員養成課程での模擬授業へのビ ア・フィードバックとセルフリフレクションによる学 生の気づき	松津英恵（東京学芸大学附属竹早中 学） 中学入学直後の時期における英語指導のあ り方を探る―生徒の英語への苦手意識とそ の対応を中心に―
⑪ 12:20 12:50	伊勢恵（東北福祉大学） 機械翻訳を活用したスピーキング学習におけ る抵抗感の変容	高木浩志（奈良教育大学） 学生のエンゲージメントを引き出す大学での 授業づくりから	阿部巧（宇都宮共和大学） 言語活動の 4 類型に基づく小学校外国語 科検定教科書の分析―場面と活動主体に 着目して―

8月9日(土)ポスター発表(西棟2階スペース)

ポスター発表コアタイム: 13:30~14:30 (9:40 掲示開始)

1	大塚朝美(大阪女学院大学)・松尾徹(大阪女学院大学)・山本淳子(大阪女学院大学) 英語教職課程における模擬授業評価ルーブリックの開発
2	Monica HAMCIUC (Kagoshima University)・Yoko KUSUMOTO (Tokyo University of Technology) Challenges and Needs of Young Elementary School English Teachers in Japan
3	藤咲優希(阿見町立朝日中学校) 英語リーディングにおける注釈言語の違い
4	木澤利英子(帝京大学) 知らない単語をどう読むか—方略と効力感の関連, および年代差の検討—
5	渡邊大志(神奈川県立総合教育センター)・斉田智里(横浜国立大学)・小竹空翼(横浜国立大学)・大鋸雄介(東京学芸大学大学院生)・佐藤扶(東京学芸大学大学院生) 外国語科における小中連携の具体的な取組事例—令和5年度英語教育実施状況調査結果に基づく訪問調査から—
6	鈴木恵太(岩手大学) 英語学習の特異的な弱さに関するスクリーニング法の開発
7	岡裏佳幸(福岡工業大学) CEFR-Jベースの英文速読教材を用いた語彙・文法の効果的指導法
8	吉村理英(小山工業高等専門学校) 工業高等専門学校における英語でのディベート活動の実践報告